

早稲田大ラグビー部監督だった大西鐵之祐さん（故人）は、チームワークを語る時に“信頼と愛情”的言葉を用いた。「大西鐵之祐ノート『荒ぶる魂』」監修の清宮克幸さんが解説している。いわく、チームワークとは信頼と愛情によって培われるものであり、決して仲良しグループではない。勝つことで真剣になることで、みんながひとつになると◆チームワークは企業にも通じる。象徴的な例が、潮騒子の身近にある。大阪市淀川区を拠点とするダイヤモンドエレクトリックHD。経営難に直面した傘下のダイヤモンド電機、田淵電機が現在、同時再生中なのだ◆結束のため、社長の小野有理さんは社内報に「我が社の背骨」を記した。もう一度輝く仲間たちを愛し、仕事を愛し、お客様を愛せるか。世界一への鍵は“仁”だ、と◆実は、小野さんも早大ラグビー部に席を置いた一人。コーチとして、当時の清宮監督の下で日本一に貢献した。大先輩の大西語録が、企業を経営する今の小野さんの基礎になっていることは間違いない◆メッセージ性のある中身でなければ、指導者の任は務まらない。きのう、菅義偉首相が辞意を表明した。コロナ対応でメッセージ性を欠いた菅語録。自民党総裁選に出馬する面々の語録は果たして…。（深）

・潮騒・

2021.9.4

西鐵之祐ノート『荒ぶる魂』